



資料編

資料編・1

計画策定のためのニーズ調査結果

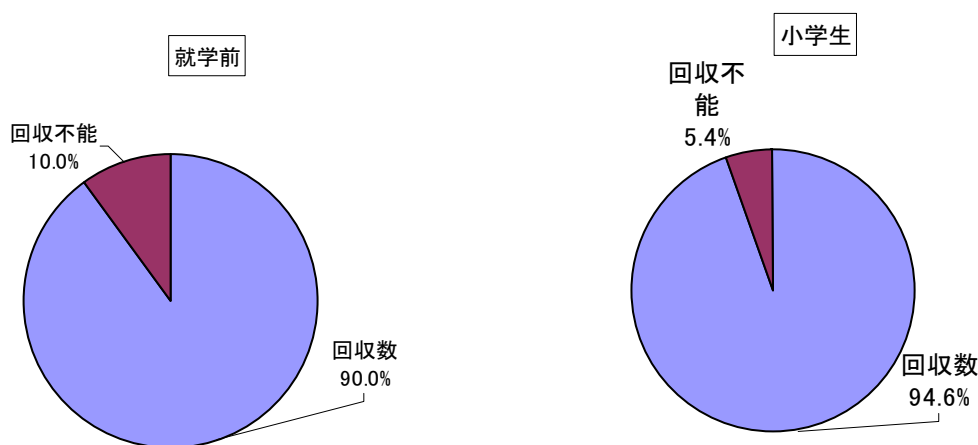
旧浜松市 次世代育成支援に関するニーズ調査 単純集計結果報告

I. 1 回収状況

この調査の実施につきましては、配布・回収に際し、地域住民の声を身近に聞き取っていただける民生委員児童委員のご協力をいただき、高い回収率を収めることが出来ました。

	配布数	回収数	有効回収（集計）数	集計不能数※	有効回収率
就学前	3, 000	2, 699	2, 674	25	89.1%
小学生	2, 000	1, 901	1, 892	9	94.6%

※ 集計不能は、未記入または記入が少ない（1～2 ページ程度）のもの。



I. 2 回答者（対象児童）の年齢

- 就学児童の各年齢構成比は、0歳（20.6%）から2歳（14.4%）の間。
- 小学生児童の学年構成比は1年生（29.8%）、2年生（35.1%）、3年生（34.6%）。

I. 3 回答者（対象児童）の同居家族

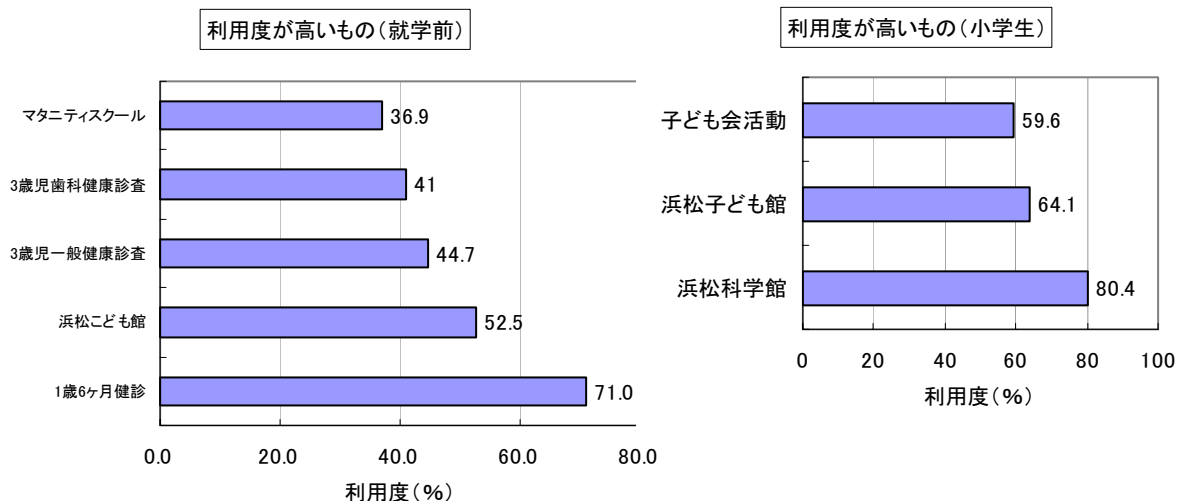
- 就学前児童・小学生児童とも、母親との同居率は98～99%であるが、父親との同居率は90%台前半と相対的に低い。
- 兄弟姉妹との同居率は、就学前児童で43.0%、小学生児童で83.5%。
- 祖父母との同居率は、就学前児童で祖母23.0%・祖父18.6%、小学生児童で祖母32.9%・祖父26.5%。
- 平均家族人数は、就学前児童で4.0人、小学生児童で4.9人。

I. 4 対象児童の世話を主にしている人

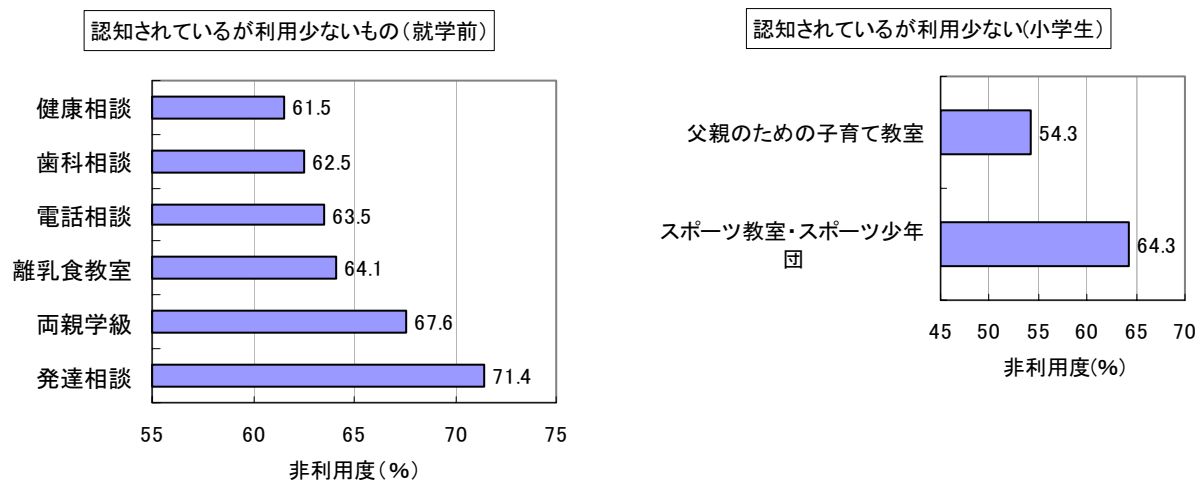
- 対象児童の身の回りの世話を主にしている人は、就学前児童・小学生児童とも専ら母親（90%台後半）。母親でなければ、父親より祖父母の方が多い。

II. 1 子育て支援サービスの利用度・認知度・満足度

- 利用度が高いものは、就学前児童では「1歳6か月児健康診査」、「浜松子ども館」「3歳児一般健康診査」「3歳児歯科健康診査」「マタニティスクール」の順。小学生児童では「浜松科学館」「浜松子ども館」「子ども会活動」の三つが突出している。



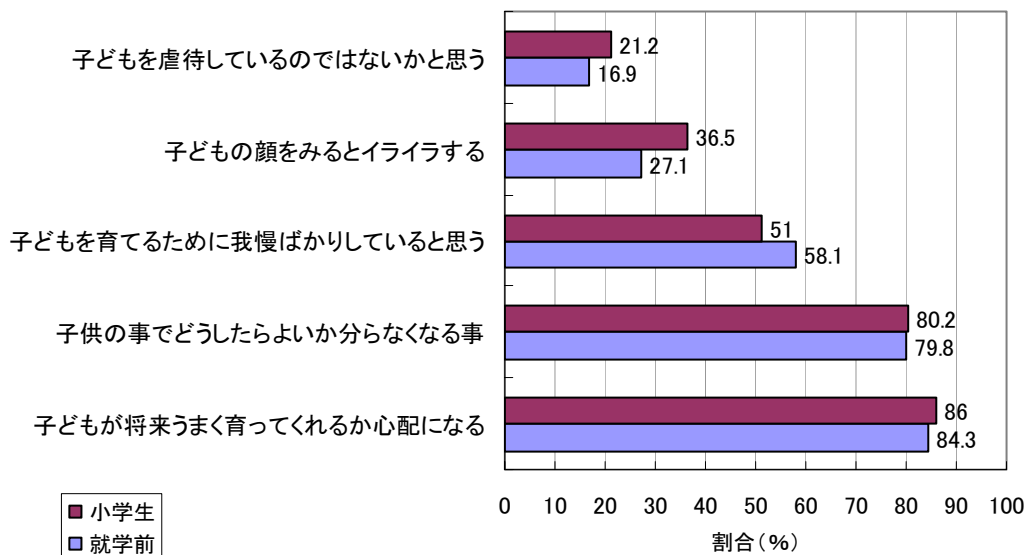
- 認知されているが利用されていないものは、就学前児童では「発育相談」、「両親学級」、「離乳食教室」、「電話相談」、「歯科相談」、「健康相談」など、小学生児童では「いじめホットライン」「スポーツ教室・スポーツ少年団」「父親のための子育て教室」など、何れも相談・教室系サービスが多い。但し、「なかよし館・児童館」も就学前 49.3%、小学生 46.0%と、認知・非利用度が高い。



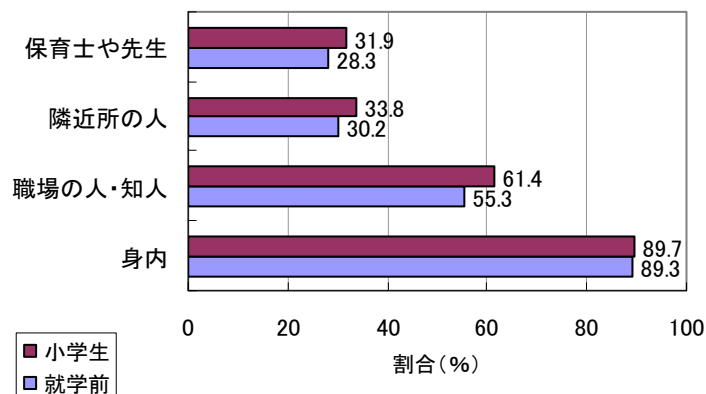
II. 2 子育てに関する喜び、悩み、不安

- 子育てに関する意識としては、「子どもが将来うまく育ってくれるか心配になる」が「ある」(よくある+ときどきある、以下同じ)とした回答者が就学前 84.3%、小学生 86.0%、「子どものことでどうしたらよいか分らなくなる事」が就学前 79.8%、小学生 80.2%、「子どもを育てるために我慢ばかりしていると思う」が就学前 58.1%、小学生 51.0%となっているのが目立つ。また「子どもの顔を見るとイライラする」も就学前 27.1%、小学生 36.5%、「子どもを虐待しているのではないかと思う」も就学前 16.9%、小学生 21.2%とネガティブな意識が目立つ。
- 悩みや不安の相談先としては、「身内」「職場の人・知人・友人」「隣近所の人」「保育士や先生」の順に多い。

子育てに関する喜び、悩み、不安

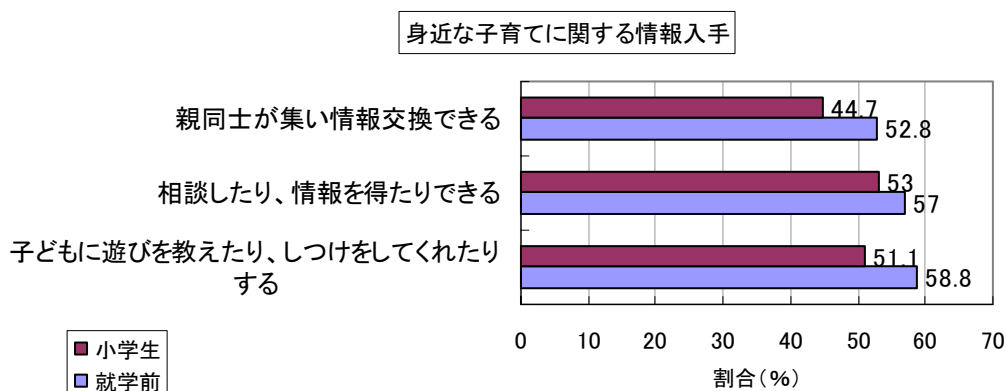


悩みや不安の相談先

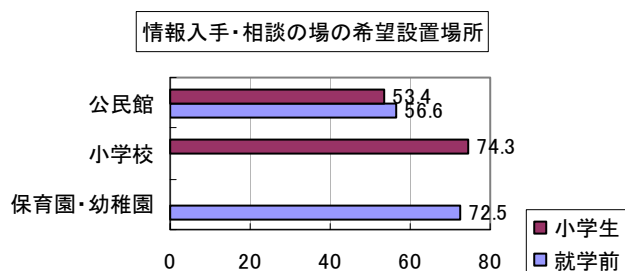


II. 3 子育てに関する情報入手や相談

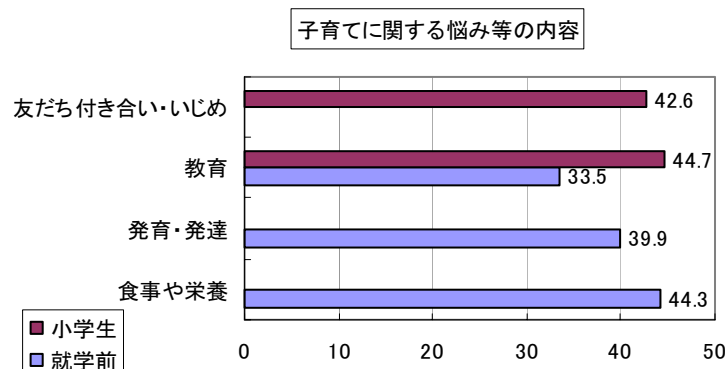
- 身近な地域での子育てに関する情報入手・相談の場に求める機能としては、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれたりする」「相談したり、情報を得たりできる」「親同士が集い情報交換できる」の三つが多い。



- 情報入手・相談の場の希望設置場所としては、就学前では「保育園・幼稚園」(72.5%)、小学生では「学校」(74.3%)がそれぞれ最多、2位はどちらも「公民館」(就学前 56.6%、小学生 53.4%)である。

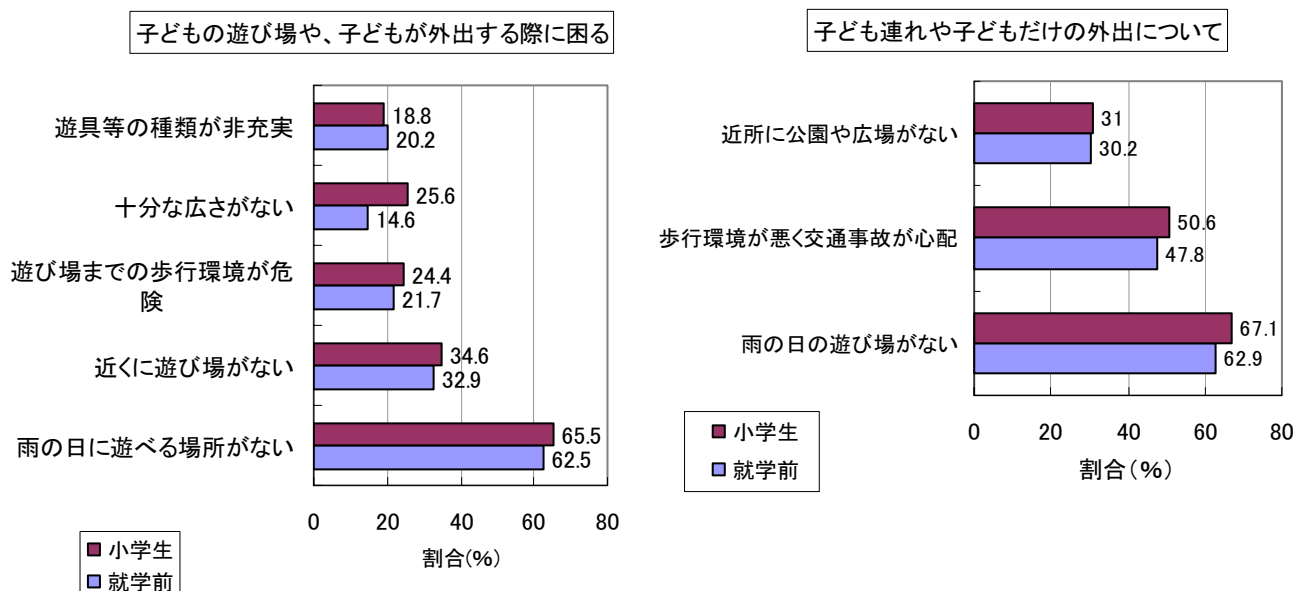


- 子育てに関する悩みの内容は、就学前では「食事や栄養」「発育・発達」「教育」が特に多く、小学生では「教育」「友だちづきあい・いじめ」が特に多い。



II. 4 子どもの遊び場や、子どもが外出する際に困ること

- 子どもの遊び場については、「雨の日に遊べる場所がない」が突出して多い。
- 子ども連れや子どもだけの外出について不満に思う点は、「雨の日の遊び場がない」「歩行環境が悪く交通事故が心配」「近所に公園や広場がない」の3点が特に多い。



II. 5 外国人との交流について

- 地域社会における外国人との交流に関する事柄で、「子どもが英語等の外国語を習得する機会を充実させる必要あり」と「子ども達が外国の文化に関し国際的な感覚を身に付ける機会が必要」については積極的な回答であるが、「公共交通機関等の表示等において日本語以外の標記が不足」と「外国人の家庭と交流」についてはやや消極的な回答であった。

II. 6 行政サービスへの要望について

- 行政窓口や公的施設の対応について不満に思ったことが「ある」という回答者は就学前14.5%、小学生11.6%であった。
- 不満の内容は「対応が不親切」が過半数で、次いで「手続きが煩雑で時間がかかる」「必要な情報がすぐ手に入らない」が多い。
- 市に充実を期待する子育て支援策として、「保育所・幼稚園の費用負担の軽減」「子連れで出かけられるイベントや場所」「医療体制の整備」「親子が安心して集まれる身近な場所」が多い。

